

○委員からの御意見その1

◆26 地区の古からの歴史と現実を理解するに及ばないが、こと私の地区の歴史と伝統と現実は大大きく様変わりしております。

それは古の代を受け継ぎ住形成している層よりも、日本の経済成長を支えた担い手たちが、住環境を求めて移り住んだ子孫が大方を占有した、まちづくりに好むとも好まないがままに時のニーズを無視した成り行き任せの地縁組織を創ってしまった結果が帰属意識のない地域コミュニティになっている。このことを無視しては幾ら市政は市民が主役と叫んでも今取り組もうとしているまちづくりは理解を得られない。

何故、そうなのかそれは、そのような環境から人材が輪番制で単年度任期のたらい回しであり、持続可能な組織運営には程遠い現実が散見されている。まず、このことを放っておいては物事万事進まないことは明明白白であり、早く急場凌ぎの地縁組織の意識革命をすることから始めることが成功への道である。

当地区では役員の意識革命から2年がかりで取り組み、実際に全てを「見える化」して、果実を実感して納得した組織運営が確立できた。帳尻合わせの運営は持続可能な未来像は勝ち得ないことを、みんなで認識することが前進するスタートである。

◆このためには市民と行政がタッグが組める相互信頼関係を役割分担を決め、責任と権限を明確にして責任の果たし合いをすることが求められている。

◆このことにより地域のアイデンティティが手繰り寄せられ強い結びつきが構築される。

◆このための前文要旨が必要である（事務局案）

- ①「富士市の活力の源になった」⇒ 一方今にマッチしない課題があるよを入れたら・・・
- ②「関心が薄れていくことが危惧されているでなく」⇒ 希薄化が進んでいる・・・
- ③「社会的な課題に直面」⇒ 社会的な困難な課題に・・・
- ④「変わらない元気な活動を進めるためには」⇒ 果敢に挑戦することが重要であり・・・
- ⑤「未来のため活躍できる、」⇒ 官民協働で持続可能な・・・

○委員からの御意見その2

第3フレームの2文が、それぞれ長すぎると思います。第一、第二フレームと重なる部分は省いて文をシンプルにした方が良いのでは？（「中学生にもわかる文」にするには、センテンスを短く。）

【第3フレーム修正案】

①このような中、今一度「地域の課題は、地域で解決する。」という自主、自立の精神の元で進める活動の意義を確認し、さらに地区と行政が連携して地域コミュニティの活性化に取り組んでいくことがますます重要になってきています。

また、今後も変わらず、元気な活動を進めていくためには、

【第4フレーム】

②「持続可能な」⇒「発展的な」